

災害時要援護者 地域支え合い活動委員会

2022年1月 定例 Zoom ミーティング 日時:1月16日(日)13:30～

欠席者:前田忠昭、木村幸夫、西川真一 中途退席:林栄一、柿谷 庸太郎

1. 報告事項

① 安否確認訓練

班長への説明:15日(土)午後、要援護者への説明:23日(日)訓練の前までに実施
上記については、各ブロックで対応、ほぼ終了。

安否確認訓練実施:23日(日)10:00～

- ・「委員の安否と安否確認活動の可否」のテスト(10時前までに回答、各委員の回答をLINEに)。
- ・班長からの報告が11時までになかった先へは、当ブロック担当委員が確認。
- ・各主ブロック担当は結果報告(結果報告表参照)⇒委員長へ⇒全ブロック集約報告書。

2. 今後の計画・活動

① 要援護者の安否確認実行:上記①参照

② 要援護者の更新名簿:区役所から提供を受ける。69名。

各ブロック主担当宛に、対象の要援護者を提供済み。

その調査、顔合わせ等は、安否確認後とする。

各ブロックの調査結果を委員長が集約。

要援護者登録カード、「わたしの災害対策ファイル」、「無事ですカード」を3月中に、対象者に。

③ 予決算、活動計画

令和3(2,021)年度

:計画:地域支え合い活動委員会体制の明確化と実行段階へ。

:実績:委員会組織の明確化に向け「地域支え合い活動委員会」制度、委員長、副委員長、ブロック主担当制を設けた。

- ・毎月定例会で情報共有、「わたしの災害対策ファイル」(要援護者の自助意識・委員会との連携強化)区役所との連携で作成し対象者に提供、当委員会のHP作成・運営、LINEグループ作成(平時の情報共有)、要援護者の安否確認を班長の役割に

:予算¥70,000 情報共有システム、「わたしの災害対策ファイル」ほか。

決算予想:「わたしの災害対策ファイル」、印刷、コピー紙(更新メンバー分も)

「情報共有システム」は委員の合意に至らず、保留のため、実質¥20,000程度に。

令和4(2,022)年計画

・適時委員募集

計画:昨年度に続き、更新要援護者も含め連携を深めていく。

要援護者「安否確認」訓練実施、

HP、「わたしの災害対策ファイル」の継続、「地域支え合いハンドブック」の改正発刊

LINE Works 導入検討 [3分でわかる LINE WORKS \(概要編\) - YouTube](#)

予算:¥100,000(上記ハンドブックによる?)

※柿谷委員の発言もあり、当委員会の来期事業計画につき、話し合いが必要。別途日時決定

	LINE WORKS	LINE
ユーザー管理	! 管理者が登録したメンバー	誰とでも自由に繋がる
ユーザー登録方法	専用のIDとパスワード	個人の電話番号
データの端末保存禁止	○	×
管理者向け機能	監査ログ、セキュリティ設定が可能	×
パソコンでの利用	○	○
複数デバイスでの同時ログイン	○	○
機種変更時のアプリデータ移行作業	不要	必要
既読確認	個人レベルの既読確認	既読数のみ

添付資料

- ・災害時要援護者登録カード
- ・安否確認報告フォーム（参照：1, 6ブロックのフォーム）

